

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和6年4月16日(2024.4.16)

【公開番号】特開2022-140669(P2022-140669A)

【公開日】令和4年9月27日(2022.9.27)

【年通号数】公開公報(特許)2022-177

【出願番号】特願2021-36833(P2021-36833)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 320

A 63 F 7/02 315 A

A 63 F 7/02 326 Z

【手続補正書】

【提出日】令和6年4月8日(2024.4.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

特別遊技の進行を制御可能な主制御手段と、前記主制御手段からの信号に応じた演出を制御可能な演出制御手段を備えた遊技機において、

遊技者が操作可能な操作手段と、

所定の異常を検出するための検出手段と、を備え、

前記演出制御手段は、

遊技機への電力供給の開始後に表示手段に複数の図柄を表示可能であり、

30

取得条件の成立に基づき取得した判定情報の判定結果に応じて、前記複数の図柄の変動演出を実行可能であり、

遊技機への電力供給が開始されたときに前記主制御手段と前記検出手段とが非接続状態である場合、所定の報知を実行可能であり、

遊技機への電力供給の開始後に前記主制御手段と前記演出制御手段とを結ぶ所定の信号線が非接続状態となった場合、所定の報知を実行せず、

遊技機への電力供給が開始されたときに前記主制御手段と前記検出手段とが非接続状態であることに基づく前記所定の報知の実行中でも、前記表示手段に前記複数の図柄が表示され、

前記変動演出の実行中に、前記操作手段を振動させる振動演出と、前記特別遊技の実行を示唆する示唆演出とを実行可能であり、

前記操作手段は、

前記振動演出で振動する第1操作手段と、前記第1操作手段と異なる第2操作手段とを含み、

前記第2操作手段の操作中に前記振動演出が実行されると、前記振動演出に係る振動が前記第2操作手段を介して遊技者に伝達され、

前記振動演出には、

操作有効期間の発生中の前記第1操作手段の操作に応じて実行される第1振動演出と、前記操作有効期間を発生させずに実行される第2振動演出と、を含み、

前記第1振動演出は、

50

前記第1操作手段の操作タイミングによって振動の開始タイミングが異なり、
前記第2振動演出には、
所定タイミングで実行される第1演出と、
前記第1演出とは異なるタイミングで実行される第2演出と、を含み、
前記第1演出における振動態様と、前記第2演出における振動態様とを異ならせること
が可能であると共に、前記変動演出の実行中に前記第1演出と前記第2演出とを演出期間
が重ならないように実行することが可能であり、
前記第2演出は、
前記特別遊技が実行されない前記変動演出において実行されず、前記特別遊技が実行さ
れる前記変動演出において前記示唆演出が実行されるときに実行可能であることを特徴と
する遊技機。

10

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記課題を解決するため、本発明によれば、特別遊技（大当たり遊技）の進行を制御可
能な主制御手段（主制御基板110）と、前記主制御手段からの信号（コマンド等）に応
じた演出を制御可能な演出制御手段（演出制御基板130）を備えた遊技機において、遊
技者が操作可能な操作手段（演出ボタン、十字キー、演出レバー）と、所定の異常（磁気
エラー、電波エラー等）を検出するための検出手段（磁気検出センサ、電波検出センサ等
）と、を備え、前記演出制御手段は、遊技機への電力供給の開始後に表示手段（画像表示
装置）に複数の図柄（演出図柄）を表示可能であり、取得条件の成立（始動口への遊技球
の入賞）に基づき取得した判定情報（特図判定情報）の判定結果に応じて、前記複数の図
柄の変動演出を実行可能であり、遊技機への電力供給が開始されたときに前記主制御手段
と前記検出手段とが非接続状態（コネクタ抜け、コネクタの半差し、断線など）である場
合、所定の報知（エラー報知）を実行可能であり、遊技機への電力供給の開始後に前記主
制御手段と前記演出制御手段とを結ぶ所定の信号線（コマンド線）が非接続状態となつた
場合、所定の報知（エラー報知）を実行せず、遊技機への電力供給が開始されたときに前
記主制御手段と前記検出手段とが非接続状態であることに基づく前記所定の報知の実行中
でも、前記表示手段に前記複数の図柄が表示され、前記変動演出の実行中に、前記操作手
段を振動させる振動演出（先読み振動演出、セリフ予告演出時、カットイン演出時、決め
成功演出時等の振動演出等）と、前記特別遊技の実行を示唆する示唆演出（図柄揃い、c
図柄揃い、確定演出等）とを実行可能であり、前記操作手段は、前記振動演出で振動する
第1操作手段（演出ボタン）と、前記第1操作手段と異なる第2操作手段（十字キー、演
出レバー等）とを含み、前記第2操作手段の操作中に前記振動演出が実行されると、前記
振動演出に係る振動が前記第2操作手段を介して遊技者に伝達され、前記振動演出には、
操作有効期間の発生中の前記第1操作手段の操作に応じて実行される第1振動演出（セリ
フ予告演出時、カットイン演出時、決め成功演出時等の振動演出）と、前記操作有効期間
を発生させずに実行される第2振動演出（先読み振動演出、ステップアップ予告演出時、
図柄揃い時、c図柄揃い時、確定演出時等の振動演出）と、を含み、前記第1振動演出は
、前記第1操作手段の操作タイミングによって振動の開始タイミングが異なり、前記第2
振動演出には、所定タイミング（変動演出の開始～高速変動期間）で実行される第1演出
（例えば、先読み振動演出、ステップアップ予告演出時の振動演出）と、前記第1演出と
は異なるタイミングで実行される第2演出（例えば、図柄揃い時、c図柄揃い時、確定演
出時等の振動演出）と、を含み、前記第1演出における振動態様（先読み振動演出やステ
ップアップ予告演出時の振動演出であれば1秒間の弱振動）と、前記第2演出における振
動態様（図柄揃い時の振動演出であれば4秒間の強振動、c図柄揃い時の振動演出であ
れば1秒間の強振動、確定演出時の振動演出であれば3秒間の強振動）とを異ならせること

20

30

40

50

が可能であると共に、前記変動演出の実行中に前記第1演出と前記第2演出とを演出期間が重ならないように実行することが可能であり、前記第2演出は、前記特別遊技が実行されない前記変動演出において実行されず、前記特別遊技が実行される前記変動演出において前記示唆演出が実行されるときに実行可能であることを特徴とする。

10

20

30

40

50